

やはば

議会だより

204
2018.4.16
岩手県
矢巾町議会

矢巾町子ども議会
(関連記事…P32)



まちづくり改革元年となるか
平成30年度の目玉事業 2

初の代表質問に3会派
代表質問3会派・一般質問10議員 町政を問う 16

交通に関する調査特別委員会中間報告
デマンドタクシーに特化し運行を 30

革元年となるか

平成30年度の目玉事業



子育て・教育

- ◆子ども医療費助成事業
7483万円
- ◆地域型保育給付事業
1224万円
- ◆小中学校トイレ洋式化
1億4258万円

産業振興

- ◆矢巾スマートIC整備事業
5億9396万円
- ◆岩手医科大学関連道路整備事業
3億7582万円
- ◆煙山ひまわりパーク整備事業
621万円



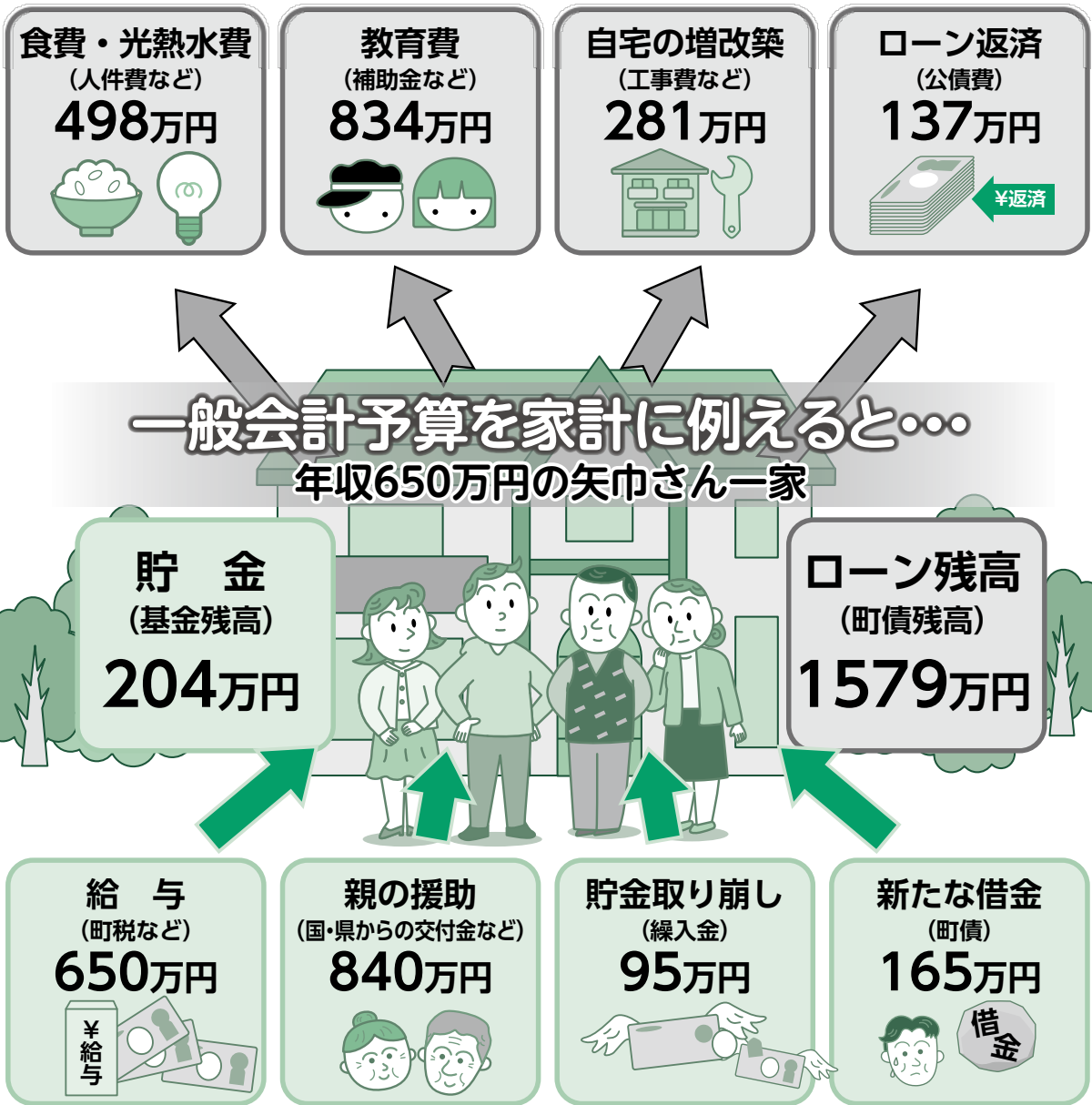
暮らし・福祉

- ◆証明書コンビニ交付関連
397万円
- ◆健康チャレンジ事業
573万円
- ◆汚泥再生処理センター運営費
3396万円



平成30年度予算

まちづくり改

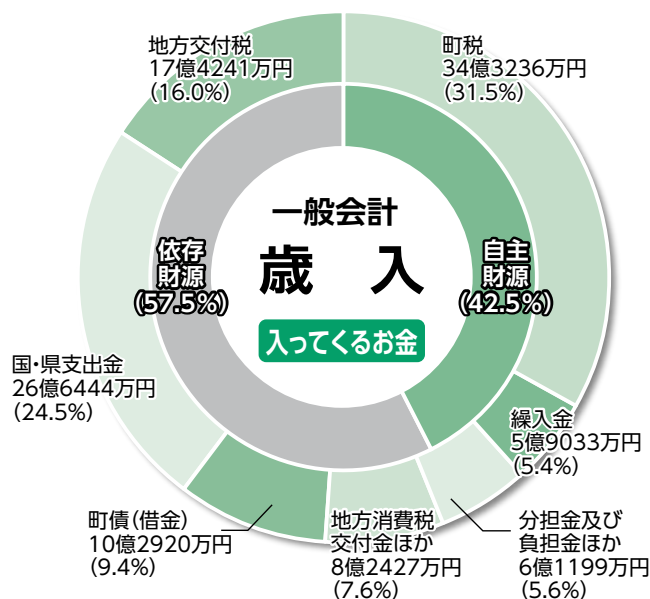
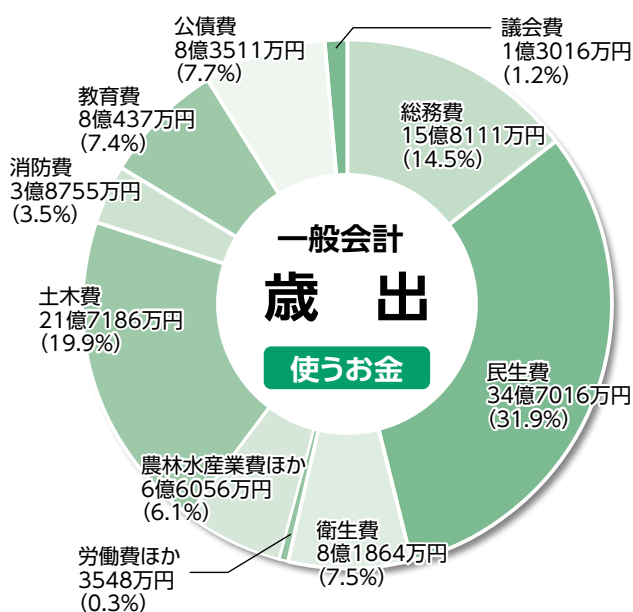


家族4人で矢巾町に住んでいる矢巾さん一家。家計簿とにらめっこしている両親に、大学生の太郎君が聞きました。太郎「父さん母さん、何をそんなに怖い顔してるの?」母「うちは年収650万円なんだけど、来年は支出が1750万円の予定なの」太郎「え?足りない分は?」母「おじいちゃん(交付金)から840万円援助をもらった、貯金(繰入金)を95万円取り崩しする予定だけど、まだ足りなくて…。もうローンは1579万円あるけど、新しく165万円のローン(町債)を組む予定なの」太郎「そ、その借金を返すのはもしかして…。そのお金って、何に使うの?」父「食費や光熱水費(人件費等)、太郎たちの教育費(補助金等)や、この家の修理(建設事業費等)も必要だろう。ローン(公債費)も返さないといけないしなあ」太郎「我が家も結構厳しいね…できる事がないか、僕も考えない!」

※2014年の全国消費実態調査によると、岩手県の勤労者世帯(2人以上)の平均年収は約667万円のため、年収を650万円に設定しました。

最大の効果を

議会定例会3月会議は2月22日から3月20日までの27日間開催され、平成30年度の当初予算を可決しました。一般会計の予算は、前年度より1億8900万円増額し、総額108億9500万円となりました。



総額108億9500万円

当初予算議案の採決状況

【議案第27号】一般会計予算

反対:齊藤正範、川村農夫 ほか賛成

【議案第28号】国民健康保険事業特別会計予算

反対:川村よし子、小川文子 ほか賛成

【議案第29号】介護保険事業特別会計予算

反対:川村よし子、小川文子 ほか賛成

【議案第30号】後期高齢者医療特別会計予算

反対:川村よし子、小川文子 ほか賛成

【議案第31号】矢幅駅周辺土地区画整理事業

特別会計予算

反対:川村よし子、小川文子 ほか賛成

【議案第32号】水道事業会計予算

反対:川村よし子、小川文子 ほか賛成

【議案第33号】下水道事業会計予算

反対:川村よし子、小川文子 ほか賛成

グラフの用語解説

【歳入】

- 繰入金** 積立てしていた基金から取り崩すお金
- 分担金・負担金** 保育料など、特定のサービスを受ける方から徴収するお金
- 国庫・県支出金** 特定の事業を進めるため、国や県から補助金などとして交付されるお金
- 地方交付税** 行政水準を一定以上に保つため、町の財政力に応じて国から交付されるお金
- 自主財源** 町税や使用料など町が自主的に収入できるお金
- 依存財源** 国や県などから交付される収入

【歳出】

- 総務費** 財産等の維持管理のための経費
- 民生費** 児童や高齢者、障がい者など、福祉のための経費
- 公債費** 借りたお金を返済するための経費

30年度
予算

最少の経費で

特別会計…国民健康保険の運用が県へ移行

国民健康保険事業特別会計

25億5389万円

前年度比
13.5%減

国民健康保険加入者への医療費や出産育児一時金給付、健康保持や増進を図る特定健康診査や特定保健指導などに取り組みます。

被保険者(5187人)
1人当たり
49万2364円

介護保険事業特別会計

21億2754万円

前年度比
4.3%増

要介護区分の認定、介護サービス給付費や介護予防事業を行います。対象は65歳以上の方全員と、40歳以上で要件を満たす方です。

被保険者(6707人)
1人当たり
31万7212円

後期高齢者医療特別会計

2億 9万円

前年度比
11.6%増

75歳以上の方、65歳以上で一定の障がいがある方を対象に、保険証（被保険者証）の交付や、高額療養費等の申請受付を行います。

被保険者(3100人)
1人当たり
6万4545円

矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計

6億4044万円

前年度比
2.3%増

土地区画整理事業の残務整理で、保留地等の売買、駅前複合施設の管理委託料の支払いを行います。

町民(2万7371人)
1人当たり
2万3398円

※1人当たりの金額は、2月末現在の対象者数から算出しました。

企業会計…施設と管路の更新を着実に実施

企業会計		収入	支出
水道事業会計	収益的	7億5596万円	5億3801万円
	資本的	12億8178万円	17億7641万円
下水道事業会計	収益的	9億6562万円	10億4881万円
	資本的	2億7602万円	6億9541万円

【用語解説】

収益的収入・支出

水道水の供給や汚水の処理に使用するための収入や支出

資本的収入・支出

施設の新設や再整備に使用するための収入や支出

※水道・下水道事業会計は複式簿記により会計処理を行う企業会計であるため、表記の方法が異なります。

議論

予算決算 常任委員会 白熱

平成30年度当初予算の審査は、議長を除く17人の委員で構成される予算決算常任委員会（山崎道夫委員長）で審議しました。

一般会計

どを考慮し交付される。自立できる歳入が多いと算定されている。

財政

質問 今後ますます民生費の増加が見込まれるが、基金はどの程度あれば良いか。

回答 災害対策や税収の変動、公共施設の長寿命化対策など、20億円程度必要であり、現状を維持していかなければならない。

質問 地方消費税交付金が昨年度より増えた理由は。

回答 制度が変わり、人口割合が50%に増加した。

質問 近隣町村と比較し、地方交付税が少ない理由は。

回答 基準となる町税、所得税、経費や道路、生活環境な

総務・防災

質問 機構改革により職員不足は生じていないか。

回答 平成30年度から政策推進室に2名増員する。産業振興課には専任の課長補佐を配置している。

質問 町職員の適正人数は。

回答 定数は185名であるが、現在179名である。4月から1名増員の180名となる。

質問 町職員から提案された事業はあるか。

回答 健康チャレンジ事業は、健康長寿課の職員から提案された事業である。



大きな希望と期待を胸に！平成30年度新採用職員

まちづくり

質問 地方創生事業に関する費用の約8割が首都圏の企業への支出であるが、町内で活用すべきでは。

回答 ふるさと納税など、最終的には矢巾町にお金が還元される見通しである。

質問 まちづくり会社に町職員を派遣しているが、公募して民間活力を生かす計画ではなかったか。

回答 立ち上げの段階では、町職員の力も必要である。軌道に乗ったら引き上げを検討する。



さわやか号の廃止を含めたデマンド交通の検討が望まれる

質問 旧町民センター食堂の改築工事の入札が、直前に中止となった理由は。

回答 設計管理に問題があったので、もう一度精査する。

質問 旧町民センター食堂の改修設計費の町負担額は。

回答 1000万円と見込んでいる。

質問 デマンド交通は早期に実現すべきであり、その際はさわやか号を廃止すべきでは。

回答 実証実験は準備等もあり、平成31年1月以降を予定している。

デマンド交通のみで交通弱者対策が可能であれば、さわやか号の廃止を検討する。

質問 さわやか号の利用者は

少なく、早急にデマンド交通に切り替え、半年間の予算にできないか。

回答 廃止も含め検討するが、運行変更の周知期間が必要である。

さわやか号の予算を年度途中でデマンド交通に割り振ることも可能である。

質問 地方創生事業交付金の内訳は。

回答 ウエルネスタウンプロジェクトやローカルブランドディング、アーティスティックレジデンスなどである。

産業・建設

質問 6次産業化で新しく開発しているものはあるのか。

回答 菌床シイタケの活用や、発酵食品での甘酒などを考案中である。

質問 改修後の農村環境改善センターの指定管理はどのようになっているか。

回答 指定管理者であるJAが継続して管理しているが、

夜間の人件費について今後話し合っていく。

質問 パストラルバーデンの所有権移転後、所有者は何にでも利用できるのか。

回答 町の観光ゾーンであり、所有者と今後も協議していく。

質問 10アール農地付き空き家活用の素案が示されている

が、農地法下限規制の50アールとの整合性は。

回答 あらゆる可能性について検討していく。

質問 やはばく東側の駐車場として町有地の活用は。

回答 医大附属病院や駅西ショッピングセンター完成後の人の流れなどを見極めながら検討していく。



整備と畑の拡張が予定されているひまわり畑

福祉・子育て支援の充実を

質問 ひまわり畑の整備等は8月に間に合うのか。

回答 ヒマワリ畑南側の敷地を駐車場として整備できないか検討し、仮設トイレを設置する。

経済効果につながるように検討していく。

質問 キャンプ場の管理について、指定管理から業務委託に変更した理由は。

回答 使用料を徴収しないため、今後は町が受付を行い、清掃等の管理は委託する。

福祉・環境

質問 障がい者の移動支援事業を通勤や通学でも利用できるように変更できないか。

回答 事業者が1カ所のみであり難しい。事業者を増やすよう努める。



待機児童ゼロを目指している保育事業（北高田保育園）

質問 福祉タクシー利用券の使用率が70%台の理由は。

回答 この数値は高いものと認識している。入所や緊急時のために残すケースがある。

質問 子どもの医療費助成を高校まで拡大できないか。

回答 県が小学校までの現物給付を検討している。それが整えば、高校まで実現したい。

質問 健康チャレンジ事業の内容は。

回答 町民200人の参加を募り、健康への意識高揚を図っていく。

町内で利用できるポイント給付につながる事業展開も目指す。

質問 4月時点における保育園の待機児童の見込みは。

回答 90人の定員増を確保できた。現在11人が調整中である。

るが、待機児童はない見込みである。

教育・文化

質問 芸術文化振興基金から300万円を各校の楽器購入費に充てるが、本来は教育費から支出するべきでは。

回答 教育費での対応には限界があり、協議会で検討し基金を運用することとした。

質問 生活保護費が削減となるが、小中学生の準要保護基準を引上げできないか。

回答 世帯収入が生活保護費の1.2倍から1.3倍に基準を引き上げた。

質問 徳丹城史跡から出土した木製かぶとを資料館に展示できないか。

回答 設備整備が必要であり、展示できるよう検討する。



新たな監視装置が設置される東部浄水場

質問 小中学校のいじめの事態は。

回答 認知件数は小学校285件、中学校150件である。いじめの認知度の高まりであり、いじめ見逃しゼロを目指し、早期発見・解決につなげていく。

特別・企業会計

質問 国税算定の均等割を除くことはできないか。

回答 国税の運用が県に移管されるに伴い、算定方法が統一されるが、均等割を除くことはできない。

くことはできない。保険税に緩和措置を導入していく。

質問 介護保険の減免対象者への対応は。

回答 対象者には個別に対応している。

質問 駅前開発のその後の動向は。

回答 医大附属病院移転に伴い、様変わりすると想定している。都市計画マスタープランに基づき開発を進めていく。

質問 屋台村第2期工事の計画は。

回答 医大附属病院の開院後、人の流れを見ながら検討していく。

質問 中央監視装置の経費が高いが内容は。

回答 東部浄水場に新たに設置しシステムの統一を図る。

質問 監視業務の委託先は。

回答 日中はシルバー人材センター、夜間は警備会社が常駐し監視業務を行う。

審査報告

予算決算常任委員会委員長 山崎 道夫

人口3万人の実現を目指し財源確保を

- 付託された当初予算議案について、次のとおり附帯決議を付して議長へ報告しました。
- ①人口3万人構想の早期実現を目指し、財源の確保に努められたい。
 - ②ふるさと納税をさらに推進し、地場産品の利用による地域経済の活性化を。
 - ③財政運営にあたっては、最少の経費で最大の効果をもたらすよう求める。
 - ④政策推進にあたっては、情報共有に努められたい。
 - ⑤職員増員と適正配置を行い、働きやすい職場環境を。
 - ⑥交通弱者対策としてデマンドタクシーの早期実施を。
 - ⑦地方創生事業の内容を明確に示されたい。特に、旧町民センター食堂の再利用については、慎重に再検討すべきである。
 - ⑧農業ビジョンの見直しと機構強化を図られたい。
 - ⑨町西部の観光開発を進めるため、施設のトイレ整備を計画的に進められたい。
 - ⑩混雑緩和や安全安心の観点から、都市計画道路の実現に向け取り組みられたい。
 - ⑪道路の総点検を図り、雪害の補修を進められたい。
 - ⑫健康チャレンジ事業へのポイント制度の導入を。
 - ⑬障がい者スポーツの推進に努められたい。
 - ⑭町を挙げてリサイクル運動に取り組まれたい。
 - ⑮不動小学校等のグラウンド整備に努められたい。
 - ⑯「スポーツのまち」「音楽のまち」にふさわしい予算の継続的配分を。
 - ⑰通学路の安全対策として歩道整備等に努められたい。

反対

地方創生事業に異論

地方創生事業の推進は、計画・実行・評価・改善のサイクルにより効果を検証し、改善などを実施しながら推進すべきである。しかし、内容の説明が十分ではなく異論があるため、一般会計に反対する。

齊藤 正範

基金の活用法に疑問

芸術文化振興基金は、町民の芸術文化の高まりを意図して、期待と善意による寄付金を積み上げてきたものである。義務教育現場の楽器購入に使用することは反対である。財政調整基金から繰り入れすべしで、一般会計に反対する。

川村 農夫

住民から負担増の声

アベノミクスで町民の暮らしが厳しい中、上下水道料金の値上げによる負担増となつたという町民の声がある。また、介護保険料の基準額が6500円と増額になったことも問題であり、反対する。

川村 よし子

S-I-C予算増は問題

子どもの医療費助成が中学校まで拡大され、子育て支援が進んだことは評価する。しかし、一方で、医大関連やスマートインターチェンジ(S-I-C)関連事業の予算が増大していることは問題であり反対する。

小川 文子

賛成

利便性の向上に期待

ふるさと納税への積極的な取り組みにより、予算増となったことを評価する。デマンド交通の検証や、コンビニでの住民票交付など、利便性の向上に期待できる。以上のことから賛成する。

高橋 安子

将来を見据えた予算

自主財源比率42・5%と堅調な歳入が見込まれる。将来を見据えた予算であり、評価できる。予算執行にあたっては、慎重を期する項目もあるが、着実な行政運営に取り組むとのことであることから賛成する。

藤原 由巳

みなさんからの請願

▽徳丹城史跡周辺の活性化と史跡内の整備に関する請願
 請願者
 徳丹城周辺活性化推進協議会 会長 川村 文洋
 紹介議員 藤原 由巳

▽ライドシェアの導入に反対し、タクシー事業を守る施策推進を求める請願
 請願者
 岩手県タクシー協会 会長 小野 幸宣
 紹介議員 昆 秀一

採択

審査意見

徳丹城跡の周辺は、徳田地区の中心地として旧商店街による街並みが形成されていたが、当時の活気と賑わいが失われている。
 徳田小学校の移転検討と合わせて、歴史、文化、産業などをテーマとした交流拠点の早期実現が望まれている。
 徳丹城跡の整備および周辺地域の利活用を図り、地域活性化につながる対策について、早期に推進することを求める趣旨は理解できるものである。

採択

審査意見

ライドシェアは、二種免許や運行管理者が不要となるなど、白タク行為を合法化するものである。利用客の安全安心が担保されず、地域経済にも深刻な影響を与えかねない。
 タクシー事業者は、地域の公共交通の役割を担っている。より安全安心で快適かつ便利な交通機関として利用客にサービスを提供できるよう、ライドシェアの導入は行わず、タクシー事業の適正化・活性化のための施策を推進するよう強く要望する趣旨は理解できるものである。

ふるさと納税が順調に推移 地場産業の活性化に期待

1月15日に開催された1月第2回会議では、一般会計の補正予算が議決され、一般会計の総額は122億3812万円となりました。

1月第2回会議

補正予算

主な内容は次のとおりです。

主な歳入

- ▽一般寄附金（ふるさと納税） 4113万円
- ▽財政調整基金繰入金 437万円

主な歳出

- ▼ふるさと納税事業 3383万円
- ▼国民保養センター工事費 1145万円
- ▼体育総務事業 50万円

大会出場補助金とは

質問 体育総務事業の各種大会出場補助金の内容は。

回答 平昌パラリンピックの日本代表候補選手に、下北行政区の高橋幸平さんが選出された。町体育協会を中心に、支援体制を検討している。

ふるさと納税の実績は

質問 ふるさと納税の実績は数と平均の寄附額は。

回答 寄附額は平均で3万円を超えており、平成29年12月末で2732件となっている。主に首都圏や大阪、仙台な

ど、人口が多いところの寄附が多くなっている。

質問 急激にふるさと納税が伸びた要因は。

回答 返礼品目の増加が最も効果があった。納税サイトを採用し、目に付くようにした。



矢巾町の紹介も掲載されているふるさと納税サイト

質問 ふるさと納税に関する委託料の内容は。

回答 ふるさと納税サイトの運営手数料である。楽天(株)は寄附額の15%、(株)さとふるは寄附額の12%とそれぞれなっている。

質問 ふるさと納税の寄附金から経費を差し引いた実質的な収入の割合は。

回答 実質的な収入は50%を見込んでいる。経費として返礼品は30%、その他の経費を合わせて50%である。

《採決》全員賛成

審査報告

ふるさと納税の 用途を明確に

- ① ふるさと納税に係る経費内訳の詳細を示されたい。
- ② ふるさと納税が、地場産業の活性化と雇用創出につながるよう期待する。
- ③ ふるさと納税の具体的な用途を明確にされたい。

証明書を交付

3月会議では、条例や補正予算などを審議しました。6月からコンビニでの各種証明書の発行ができるようになり、各種町税も4月からコンビニ納付がスタートしています。

議会で決めたこと

3月会議

人事案件

人権擁護委員の推薦



みや かずお
宮 一夫さん
(西徳田2区) 新



さかもと のぶゆき
坂本 信行さん
(白沢) 再



こんの ふみこ
今野 文子さん
(下北) 再

任期は平成33年6月30日までとなります。

《採決》全員賛成

工事請負契約

農地耕作条件改善事業

その1工事

北伝法寺や室岡、岩清水などのほ場において、暗渠排水設備と除れき工事を5400万円で行います。

住民への説明は

質問 住民への説明は、業者が行うのか、町が行うのか。

回答 地域の皆さんからの要望によって行われる事業であり、要望の段階から打ち合わせを行っている。

《採決》全員賛成

条例

指定居宅介護支援事業の基準を定める条例

指定居宅介護支援事業者の指定権限が、平成30年4月1日に県から市町村に移管されることに伴い、人員や運営に関する基準を定めます。

町職員の人員配置は

質問 事業の権限移譲により業務が増えると思われるが、町職員の人員配置はどのようになるのか。

回答 0.5人分の事務量の増加が見込まれる。人事担当課と協議をしている。

《採決》全員賛成

印鑑条例

印鑑登録証明書をコンビニエンスストアで交付を受けることができるようになります。

カード交付の混雑状況は

質問 マイナンバーカード交付手続きは混み合うか。

回答 3月と4月の繁忙期は、マイナンバーカード交付の手続きも混雑する。

《採決》全員賛成

国民健康保険事業 財政調整基金条例

国民健康保険法の一部改正により、基金の用途を改定し



コンビニ交付で住民サービス向上に期待

ます。県との共同運営に合わせ、健全な事業運営のため使用できるようになります。

現在の基金残高は

質問 現在の基金残高は。
回答 1億822万円の残高である。

質問 緊急時の医療費への不足分として活用できなくなるのか。

回答 医療費や保健事業の不足分への使用は従来どおりである。さらに、税収入の不足分用として用途を拡大する。

《採決》反対・川村よし子ほか賛成

6月から
スタート

コンビニで各種

介護保険条例

第7期介護保険事業計画に基づき、平成30年度から32年度までの介護保険料を定めます。3年間の基準介護保険料は、現行の月額5700円から約14%増加の月額6500円となります。

《採決》反対・川村よし子ほか賛成

指定地域密着型サービス事業の基準を定める条例

指定地域密着型サービスの事業の人員や設備、運営に関する基準を定めます。

課題をどう捉えているか

質問 共生型地域密着型サービスの問題は。

回答 制度や基準の違いから利用料も異なっていたことを、課題として捉えている。地域包括支援センターなど関係機関と連携し、矢巾町における共生型地域密着型のあるべき姿を模索していく。

《採決》全員賛成

補正予算

主な内容は次のとおりです。

主な歳入

▽森林病虫害等防除業務 委託金 73万円
▽財政調整基金繰入金 5370万円

主な歳出

▽森林病虫害等防除業務 委託料 73万円
▽除雪事業 5370万円

松くい虫の被害状況は

質問 町内の松くい虫の被害状況は。

回答 平成29年6月に大規模な防除を実施しており、キャンプ場や旧稻荷街道松並木で樹幹注入を行った。今回の事業では、和味地区から城内山にかけて、被害木や枯れ木の除去作業を行う。

除雪作業の状況は

質問 2月は大雪のため住宅地は車がすれ違うのも大変な状態であった。除雪状況と一人暮らしの高齢者への対応は。

回答 毎週除雪をしており、排雪作業も行った。住宅地は

道路が狭くなる場合もあるので、状況を見て対応していく。

一人暮らしの高齢者については、民生委員を通じて希望者を取りまとめて、シルバー人材センターに依頼し、玄関先を中心に除雪している。

《採決》全員賛成



降雪量が多く除雪作業に追われた昨シーズン

議会で決めたこと

旧町民センター食堂 再利用について 慎重に検討を！

議会で決めたこと

工事請負契約

矢巾S・I・C関連町道堤川
目線道路改良その4工事

矢巾スマートインターチェ
ンジ関連周辺道路整備事業で、
町道堤川目線の道路拡幅と歩
道設置工事を9720万円で
行います。

《採決》反対・川村よし子
小川文字
ほか賛成

町道中央1号線道路改良
その1工事

町道中央1号線道路整備事
業として、道路の改良工事を
1億7280万円で行います。

《採決》全員賛成

補正予算

主な内容は次のとおりです。

主な歳入

- ▽法人町民税 6308万円
- ▽学校施設環境改善交付金 3498万円

主な歳出

- ▼地方創生拠点整備交付金 前年度返還金 3285万円
- ▼小中学校トイレ改修工事 1億1543万円
- ▼除雪委託料 6900万円



有効活用が望まれる旧町民センター食堂

交付金の返還理由は

【質問】旧町民センター食堂の
改修計画に使用する予定で
あった地方創生拠点整備交付
金を返還する理由は。

【回答】平成29年度中に入札が
できず事業が実施できなかった
ため、交付金を返還する。

ふるさと納税事業の内容

【質問】ふるさと納税の消耗品
費と委託料の内容は。

【回答】消耗品費は返品品代で
あり、委託料はウェブサイ
等運営管理の委託料である。
ふるさと納税の2カ月後に、
返礼品等の請求がくる。

学校トイレの改修内容は

【質問】小中学校のトイレ改修
の内容は。

【回答】徳田・煙山・不動小学
校と矢巾北中学校のトイレを
洋式化するほか、床や仕切り、
排水管の改修を行う。

《採決》全員賛成

審査報告

予算決算常任委員会

①地方創生事業など重要な事
業を実施する際は、十分に
理解できる資料を提出する
とともに、分かりやすく丁
寧に事前説明を行い、その
詳細を明確に示されたい。

全員賛成で可決された議案

平成30年定例会 3月会議では、条例17件、補正予算8件、人事案3件、発議案2件、その他7件はすべて可決・同意されました。

下表以外の議案については、4ページと11～14ページをご覧ください。

平成30年定例会 3月会議

【議案第2号】 紫波町と矢巾町とのし尿及び浄化槽汚泥処理に関する議決 紫波町汚泥再生処理センターの汚泥処理に関する事務を紫波町に委託	【議案第16号】 非常勤職員の任用に関する条例改正 非常勤保育士の人材確保と処遇改善のため、報酬額を引き上げる
【議案第5号】 地域の自主性及び自立性を高めるための関係条例制定 国の関係法律が、平成30年4月1日から施行されることに伴う改定	【議案第17号】 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例改正 子どもの教育・保育給付の支給に関し、個人番号を利用することができる改定
【議案第6号】 一般職の給与に関する条例改正 農業委員会事務局長と学校給食共同調理場所長の職務給を5級から6級に改定	【議案第18号】 農業体質強化基盤整備促進事業分担金の徴収条例廃止 これまでに実施した事業に係る分担金の徴収が完了したことから、請求権が時効によって消滅することから廃止する
【議案第9号】 地区計画案の作成手続に関する条例改正 都市計画マスタープランの見直しに併せ、住民等からの申出方法を追加	【議案第19号】 町道路線の廃止に関する議決 開発予定地である藤沢地区の4路線を廃止
【議案第10号】 野外活動施設設置条例改正 野外活動施設の利用者の快適性を向上させるため、迷惑行為の禁止行為を定める	【議案第20号】 町道路線の認定に関する議決 高田地区の住宅造成工事と医大附属病院予定地内の10路線を認定
【議案第12号】 後期高齢者医療に関する条例改正 後期高齢者医療制度加入時の住所地特例の見直しと、保険料徴収の特例を廃止	【議案第21号】 字の区域変更 矢幅駅前地区土地区画整理事業の換地処分に伴う字の区域変更
【議案第14号】 指定地域密着型介護予防サービスの基準を定める条例改正 基準を規定する省令の改正に伴い、人員および設備に関する基準の改定	【議案第36号】 税条例改正 国民健康保険の財政責任主体が県になることに伴う改定
【議案第15号】 指定介護予防支援等事業の基準を定める条例改正 基準を規定する省令の改正に伴い、基本方針を改定	【議案第37号】 職員定数条例改正 議会事務局職員の定数を3人から4人に変更

ズバリ 町政を問う

代表質問

代表質問とは、会派を代表する議員が施政方針などに対して行う質問です。主に町長施政方針や教育行政方針、当初予算を取り扱う3月会議において実施します。本町議会では、3名以上で構成する交渉会派が行うこととしています。

今回初めて代表質問を実施した3月会議では、3会派が代表質問を行い、活発な議論が展開されました。

- 一心会 山崎道夫議員……………P17
 - ①「まちづくり改革元年」に向けた取り組み
 - ②教育現場における諸施策の取り組み
- 矢巾明進会 長谷川和男議員……………P18
 - ①目標人口3万人に向けた施策
 - ②学校施設の整備
 - ③仮称・ひとり一改善運動制度への取り組み
- 矢巾町政策研究会「やまゆり会」 高橋七郎議員……………P19
 - ①矢巾町政全般

一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

3月会議では10人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

- 昆 秀 一 議員……………P20
 - ①町長の政治姿勢
 - ②あいさつの励行
 - ③交通マナー教育のさらなる充実
 - ④教育委員会の活性化
- 小川文子議員……………P22
 - ①子育て支援と移住・定住の促進
 - ②町民の企画・提案によるまちづくりを
 - ③南昌グリーンハイツをスケート場に
- 米倉清志議員……………P24
 - ①地域消防力の強化に向けた消防団の活性化
 - ②駅前上堰に「ホテルの里」建設
 - ③スポーツ・芸術の人材採用
- 水本淳一議員……………P26
 - ①健やかな生活を守るまちづくり
 - ②家庭的保育事業の取り組み
 - ③住民協働の町づくり
 - ④広域連携の推進
 - ⑤「住みたくなるまちやば」の青少年への取り組み
- 藤原梅昭議員……………P28
 - ①快適性と安全性を高めるまちづくり
 - ②産業の活力を高めるまちづくり
 - ③学校教育の充実
 - ④安心と信頼が寄せられる行政経営
- 村松信一議員……………P21
 - ①矢巾町の農業振興
 - ②矢巾町まちづくり改革元年
 - ③明治150年のイベント開催
 - ④環境にやさしいまちの構築
- 齊藤正範議員……………P23
 - ①まちづくりの考え
 - ②農業政策
 - ③普代村との更なる交流
- 川村よし子議員……………P25
 - ①国民健康保険制度の広域化
 - ②高齢者福祉と介護保険
 - ③農業政策
- 藤原由巳議員……………P27
 - ①平成30年度の施政方針演述
 - ②教育行政方針を受けて
 - ③「新しいまちづくり調査研究特別委員会」からの政策提言を受けて、その後の経過
- 川村農夫議員……………P29
 - ①イセファームの臭気対策
 - ②農業の具体的施策展開
 - ③町長の町民党とは

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。詳しい内容は、議会事務局にお問い合わせください。

代表質問 町政を問う



一心会

やまざき みちお
山崎 道夫 議員

まちづくり改革元年の具体化を 実行性のある計画を策定する



県内で初めて開通した矢巾スマートインターチェンジ

質問 矢巾スマートインターチェンジを中心とした県道沿いと、西側の町道安庭線沿いの土地利用は、町のさらなる発展に結びつくと思われるが、構想を示されたい。

町長 スマートインター周辺は、県道、町道沿いも含め、

改定中の都市計画マスタープランにおいて市街地検討ゾーンとして位置づけている。スマートインターが持つ潜在能力を生かし、土地利用を検討していきたい。

質問 町内の道路の混雑と渋滞緩和に向け、道路網の整備が求められているが、都市計画道路の具体的路線と整備スケジュールを町民に示すべきではないか。

町長 都市計画道路も含め、町内主要道路計画について、スマートインターチェンジ開通や、岩手医大附属医院開業、要望している盛岡西バイパス南進整備など状況を見定める。計画変更も含め、実効性のある整備計画の策定に取り組んでいく。

質問 町道西部開拓線は、大型トラックなどの交通量が多く、歩道もないことから、大変危険である。

一日も早い安全対策に取り組み、隣接市町と連携して、県道昇格に向けた取り組みを

進めるべきではないか。
町長 今後、地域の要望を踏まえ、歩道整備を検討し、信号機設置は継続して警察に要望していく。

また、県道昇格については、盛岡市や紫波町と連携し協議していく。

学校にタイム カードの導入を 導入を検討する

質問 県教委は平成30年度、教員の負担軽減に向け、全県立学校にタイムカードを導入する方針を示し、併せて市町村教委にも導入を促すとした。本町も小中学校に早期に導入し、教員の多忙化解消の一助にするべきでは。

教育長 教員の働き方改革について、中央教育審議会の緊急提言により、教員の勤務時間を把握するためのタイムカード導入と捉えている。今後は県教委からの情報を基に、導入に向けて検討していく。

目標人口達成の施策は 各分野で具体的な施策を推進



矢巾明進会
はせがわ かずお
長谷川 和男 議員



水はけが悪く3日後に開催された不動小学校の運動会

質問 目標人口達成のため、土地を活用する戦略を打ち立てるべきと考えるが。

町長 本年度策定中の都市計画マスタープラン、および来年度策定の第三次国土利用計画において、専門委員や町民の意見を踏まえ、各分野の具

体的な施策内容を盛り込みながら推進していく。

質問 人口3万人のまちづくりは、民間企業による土地区画整理事業が不可欠であることから、都市計画マスタープランに明記すべきではないか。

町長 現在改定中のマスタープランで、新規の住宅地、工業・流通業務地も、土地区画整理事業や民間開発整備を図ることを明記する。

質問 市街化調整区域における地区計画実現のため、県や国に働きかけるべきでは。

町長 盛岡広域では事例がないため、手法について県と協議中である。

学校施設の 整備状況は

不動小校庭の土の 入れ替えを検討

質問 不動小学校の校庭の水はけが悪いが、その対策は。

教育長 今後校庭の土の入れ

替え等の改善を検討していく。

質問 学校施設整備基金で屋外施設を整備できないか。

教育長 基金は学校施設の新築用資金という位置づけで積み立てしている。用途の協議を行って、一部を利用していきたい。

職員の 業務改善を

職員提案制度の 充実を図る

質問 職員一人一人が、事務事業の改善策を提案し実行することで、行政事務の能率性・効率性の向上、経費の削減、収入の増加、住民サービスの向上が図れないか。

町長 職員は常にその組織および運営の合理化に努めている。住民の利便性の向上と業務の効率化を図る目的に、職員提案制度を実施している。今後制度を充実させながら常に業務改善に努めていく。

リニアコライダー誘致に向けて 県全体で取り組む



やまゆり会

たかはし 高橋 しろろう 七郎 議員

質問 日本政府は国際リニアコライダーの誘致を国際機関に受け入れ表明をしていないが、誘致に向けての盛岡広域7市町と本町の取り組みは。

町長 県内外の約500の法人、個人が加盟する岩手県国際リニアコライダー推進協議会に加盟し、その一員として協議会が行う誘致活動に協力している。町独自で取り組むのではなく、県全体での実現に向けて役割を果たす。

**盛岡南公園への
野球場建設は
盛岡広域で協議**

質問 盛岡南公園への野球場

建設は本町にもメリットが大きく、多少の負担をしても協議会に参加できないか。

町長 盛岡広域連携都市圏ビジョンにおいて、スポーツ施設の相互利用や同一料金で利用できるような協議が進められるものと認識している。



町を訪れる観光客に喜ばれる新パンフレット

**新しい観光
パンフレットは
2種類作成する**

質問 新しい観光パンフレット作成の進捗状況は。

町長 観光パンフレットは、通常版とポケット版の2種類を作成する。

ポケット版は、町内を訪れた観光客が散策できるような情報を集約したものを、3月中に発行する。

通常版は、矢巾町を訪れたと思うような写真を中心としたものを作成し、平成30年度中の発行を予定している。

**火葬時刻とは
火入れ時刻とする**

質問 本年1月4日から矢巾斎苑の火葬時刻が改定されたが、町民から今までの時刻に行くと間に合わなかったという声がある。火葬時刻とは何を始める時刻なのか。

町長 会葬者の人数により、火入れ前のお勤めに時間を要する。収骨まで斎苑の利用時間が2時間で収まらず、次の火葬の時間に影響を及ぼす場合がある。

火葬時間は火入れの時刻としている。

代表質問 町政を問う

公募によって教育委員を 現在は考えていない



議員
秀一 (一心会)
しゅういち
こん 昆

質問 より開かれた教育委員会にするために、教育委員を公募にする考えはないか。

教育長 委員の年齢・性別・職業等に偏りがないよう配慮する必要がある、さまざまな方面に精通する地域の方を中心に選出するので、現在は公募での選出は考えていない。

質問 総合教育会議の町民の理解度や、教育委員会議の公開度をどう考えているか。

教育長 新制度に移行した際、町民に十分な説明をしなかった。そのために総合教育会議については、十分な理解がされていないと思われるので、今後より一層の周知に努める。毎月開催される教育委員会議は原則公開であり、議事録

はホームページで公開している。今後は会議の開催日時をホームページでお知らせする。

町長就任後の 自己評価は

信託くださった

町民の方々が判断

質問 高橋町長が町長に就任して3年を振り返っての自己評価は。

町長 第7次総合計画の基本理念に基づき、町民の方々とともに心を一つにして町政運営に努めてきた。

評価は私自身がするものではなく、信託くださった町民の方々が判断するものである。

質問 より一層の若者の意見が反映できるように「中高生課」を設置してはどうか。

町長 7世代先を見据えた社会構想であるフューチャー・デザインの中で、若者の意見を反映させていくため、課の設置は考えていない。



子どもたちの安全のために、スクールガードの活動は欠かせない

スクールガード 確保策は

保護者などに協力
依頼を行っている

質問 町内で、子どもたちの

安全のためスクールガードなどが活動している。その方々に対する支援や人材確保策は。

教育長 スクールガードに対しては保険料を町が負担している。人材確保としては、保護者などに協力依頼し各地区から推薦してもらっている。



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員
(矢巾明進会)

大規模野菜栽培の計画は 申請した農業組織はない



昭和初期の矢幅駅前商店街を撮影した貴重な写真

質問 輸入から国内産野菜への転換を対象とした9品目野菜の大規模栽培に1500万円の助成制度があるが、本町での申し込み状況は。
町長 各農業関係組織の作付け計画によると、本町での取り組み計画はない。

質問 農業組織に対する新たな助成制度の周知が徹底されていないように思うがどうか。
町長 今後、情報提供に努め、周知徹底していく。

質問 自らの生産物や地域を売り込むため、商社的な「道の駅」構想の考えはないか。
町長 道の駅「うつのみやろまんちっく村」は、地域商社の機能を備えた団体として運営している。

成功事例として参考となるので、引き続き検討していく。

明治150年 計画は

貴重な写真を デジタル化する

質問 全国各地で明治150年の特別展示会などが行われているが、本町の取り組みは。

教育長 貴重な写真など、アナログ保存からデジタル化を図り、ネットワークを利用して誰でもアクセスできる環境整備を行いたい。

質問 貴重な消火用**腕用ポンプ**が保存されているが、イベント等に活用してはどうか。
教育長 腕用ポンプは3台あり、状態を確認しながら企画展等での展示を検討したい。

多世代家族の 支援策は

子育て・介護など 課題解決につなげる

質問 子育てや介護の一部が家庭でできる多世代家族への支援策を考えてはどうか。

町長 待機児童解消や学童余暇時間サポート、介護の協力など、課題解決につながることから諸施策を推進していく。

質問 ITやAI(人工知能)などを活用した長寿高齢化社会の構築に向け、産業技術短大に専門研究科を誘致してはどうか。

町長 人口知能を取り入れた技術革新による産業の高度化のために必要と考え、知事に要望書を提出した。

町民の企画提案事業に補助を 新たな制度の創設を検討



おがわ ふみこ
小川 文子 議員
(日本共産党)



田園ホールで開催されたアコースティックライブ(矢巾コール)

質問 町民の企画・提案による事業に補助する制度を。

町長 協働のまちづくりを前進させるため、新たな制度の創設を検討する。

質問 「音楽のまち」実現のために、町民から企画を募集

してはどうか。

教育長 平成29年度は主に公共施設でミニコンサートを開催してきた。今後、町民からの企画提案やイベントの共同開催に取り組んでいきたい。

質問 町内産食材や加工品のコンテストを実施し、道の駅開設に結びつけることはできないか。

町長 新しい名物料理や特産品の開発に結びつき、町の魅力発信につながるから検討していく。

**結婚・出産の
祝い金支給を
継続的な
支援を検討する**

質問 きめ細やかな子育て支援策として、結婚・出産の祝い金を支給してはどうか。

町長 一時的な支援ではなく、高校生までの医療費助成など、継続的な支援を検討していく。

質問 町営住宅に子育て世帯

が移住できるように、町内在住の条件を緩和できないか。

町長 今後、町営住宅の整備方針を検討する際に、入居要件を検討していく。

質問 子育て世帯に家賃を補助できないか。

町長 多くの子育て世帯が対象となる支援策に取り組んでいきたいことから、現在、家賃の補助は考えていない。

**グリーンハイツ
をスケート場に
活用は困難である**

質問 南昌グリーンハイツが水漏れのため使用できないとのことであるが、プールをスケート場にできないか。

子ども用プールは残して使用できないか。

町長 スケート場としての活用は困難である。グリーンハイツは老朽化のため、今年3月に閉館する。町民プールは、矢巾中学校のプールを利用できるか検討したい。



さいとう まさのり
齊藤 正範 議員
(矢巾明進会)

病院建設地周辺の企業数は 現在15の企業が進出している

質問 岩手医大附属病院建設地の周辺である、ヘルスケアゾーンの立地企業数は何件か。
町長 現在15件となっている。周辺地域の土地状況から、病院の移転開業予定である来年9月までに、あと数件の立地があると見込んでいます。

質問 第7次総合計画の前期計画は、目標以上に達成している。
2年の残り期間において、町税の増収に向け目標値を見直し、さらに努力する考えはないか。

町長 現時点では見直しを行っていないが、企業の立地は雇用の創出や定住促進・税収増にもつながることから検討していく。

農業支援策は 補助事業を周知し 経営改善を指導

質問 個人認定農業者の育成はどのように考えているか。

町長 認定農業者を含む担い

手はさまざまな補助事業の対象となるので、利点を十分に周知した上で、経営改善について指導していく。

質問 個人経営者と集落組織などの関わりを、どのように整理していくのか。

町長 以前から協議しているが、内容をさらに詰めていきたい。



普代村に古くから伝わる伝統芸能「鶴鳥神楽」(普代村提供)

町長 認定農業者と集落組織の双方が、将来的な農業経営の在り方について意見交換を行う連絡会議を8月までに設置し、人・農地プランの見直しに向けて支援していく。

質問 参加メンバーは。

町長 認定農業者を含む担い手・農業法人と、産業振興課・農業委員会などである。

普代との交流は 交流の充実を図る

質問 普代村・鶴鳥神楽の郷土芸能大会への出演など、さらなる交流を図ってはどうか。

教育長 全国でも貴重な「廻り神楽」でもあり、郷土芸能保存会と協議し実現したい。

質問 普代村の海産物と町農産物販売拡大とPRのため、セット品をふるさと納税の返礼品にできないか。

町長 以前から協議しているが、内容をさらに詰めていきたい。

消防団員の確保は 企業訪問などで確保に努める



よねくら きよし 議員
米倉 清志 (公明党)

質問 近年多発する大雨等大規模災害から町民の生命財産を守るため、不足する消防団員の確保に、企業の支援と地域の応援体制が必要と思うがその対策は。

町長 本町消防団員の充足率は82・9%である。

現在は機能別消防団員制度の導入や、各地域の自主防災組織に募集を依頼している。事業所では、矢巾町消防団応援事業の体制を整え、企業訪問などで団員の確保に努めている。

質問 女性消防団員は後方支援などに重要な役割を担っている。

女性団員の増強が急務ではないか。

町長 今後、町職員はもとより、各企業からも広く女性団員の確保に努め、応急手当などができる団員を増員する。

矢幅駅前に ホテルの公園を 生息可能か 方法を模索する

質問 全国に発信できる新たな観光地を目指し、矢幅駅前にある「ねむの木公園」や上堰に、ホテルの舞う公園を創出してはどうか。

上堰沿いに花壇や藤棚など、観光客が集う憩いの広場に整備できないか。

町長 ホテルの生育には、公園内の池や上堰水路の整備、維持管理に難しさがある。現在の環境で生息可能か方法を模索する。

上堰沿いに花壇を作るなど、にぎわいの創出については、維持管理も含め、地域住民など多くの方の意見を聞きながら検討していく。



後方支援での活躍が期待される女性消防団員

国際的選手の 育成を 指導員を配置し 育成に努める

質問 運動部などの部活動に専門的な指導員を配置し、才

リンピック選手など、国際的に活躍する選手を育成する考えはないか。

教育長 文武両道のまちを目指して、指導員の配置を進め、人材の育成に努めていく。

国際的に活躍する選手の育成にも取り組んでいきたい。

国保税子どもの均等割廃止を 子育て支援策に取り組む



かわむら
川村 よし子 議員
(日本共産党)



子育て支援センターで行われている「プレママ&ぼかぼか広場」

平性を保つためには、国の負担による免除や軽減の見直しを要望していく必要がある。

質問 4月から埼玉県ふじみ野市では、第3子以降の均等割を全額免除する。

少子化対策として本町でも実施できないか。

町長 均等割を免除するのではなく、広く子育て支援策に取り組んでいきたい。

認知症の 早期発見は

初期集中支援 チームを設置

質問 介護事業の中で認知症の早期発見・対応が必要ではないか。

町長 認知症初期集中支援チームを設置しており、早期発見・早期対応に向けて関係機関と連携している。

本人や家族への訪問活動を行い、必要に応じて医療機関の受診を勧めている。

質問 介護保険料の値上げは、後期高齢者保険料とのダブル値上げにならないか。

町長 介護保険料は月額800円、年額で9600円の増額となるが、後期高齢者医療の保険料は据え置きとした。

家族農業の

支援を

支援はしていない

質問 耕作放棄地の解消や景観保持のため、家族農業を支援してはどうか。

町長 家族農業に特化した支援はしていない。

耕作放棄地を解消するため、中間管理機構等で農地の集積・集約を行っている。

多面的機能支払交付金を活用し地域の景観保持に努める。

質問 学校給食の地産地消率引き上げのため、さらに小規模農家の農産物を活用しては。

町長 町内産のコメを購入する費用の一部を補助し、地産地消率50%を維持している。

古館駅を含めた交通網整備は 町内交通網の充実から



みずもと じゅんいち
水本 淳一 議員
(町民の会)



ロータリー化が検討されている古館駅前

質問 古館駅の活用を含めた交通網整備の具体的な考えは。

町長 本町では平成30年度から数年かけて、町内の交通網ネットワークを変更していく。その先の課題として、隣接する盛岡市、紫波町との交通網を考えていくことになる。

広域の交通網は県が主導となり検討する必要があるが、古館駅も含めた交通結節点を生かし、住民の利便性の向上と移動手段の確保に努める

家庭的保育の 進捗状況は

本年度中の
実施を目指す

質問 町内保育園と認定こども園の平成30年度の申し込み状況は。

町長 新規申し込みは224名で、全園児数は1031名となり昨年度より16名多い。そのうち3歳未満児は403名で30名多くなっている。

質問 家庭的保育事業への取り組みの進捗状況は。

町長 事業希望者の事業内容や開始時期、人材の状況などを確認し、平成30年度中の実施を目指している。

質問 研修会を盛岡市以外で受講することはできないか。

町長 受講できる機会を増やせるよう実施市町村と協議していく。平成30年度は本町でも開催する予定である。

がん知識の 啓発は

健診の場でもPR

質問 病気、特にがんに対する知識の啓発は。

町長 町広報紙やホームページなどを利用し、普及啓発を行っているが、特定健診の場でも積極的にPRしていく。

質問 町内のリハビリテーション施設の現状は。

町長 関係施設は10カ所あり、理学療法士47名、作業療法士51名など、専門職は104名である。

質問 車椅子利用者が使用できるトイレの設置状況は。

町長 すべての屋内公共施設に設置しているほか、自治公民館35施設のうち、8施設に設置されている。

平成30年度の財政運営は 厳しい状況が続いている



ふじわら よし み
藤原 由巳 議員
(やまゆり会)

質問 財政運営方針と、上下水道事業の具体策を問う。

町長 財政状況は、岩手医科大学附属病院の関連投資で厳しい状況が続いているが、開院に伴う経済効果と、自主財源の確保による好転化に努める。水道事業は、水源確保に目途がついたので、築川ダムからの取水は慎重に検討する。

質問 国の米政策が大きく変わるが、その対策と岐路に立たされているモチ米対策は。

町長 町では従来どおりの政策を進める。モチ米の流通情勢の改善に積極的に取り組む。

質問 ズッキーニのさらなる奨励策と最盛期の労力対策は。

町長 本年は地域振興作物に

設定し、交付金を活用した生産振興を行う。JAと連携し、労力対策情報を提供していく。

質問 今後の和牛振興対策は。

町長 国の補助事業と町独自の基金活用による安定生産化の推進と後継者育成に努める。



全国和牛共進会で入賞した「やまねみつぐ号」と立花惣八さん(写真左)

駅西進出の 店舗概要は

10月に開業予定

質問 矢幅駅西地区に進出する店舗の概要は。

町長 矢幅駅西ショッピングセンター(仮称)が、ユニバースとサンデーの2社で本年10月30日にオープンする。

徳丹城周辺の 活性化は

徳田小学校移転は 人口動態を見る

質問 行政区再編が進まない中、現在の学区見直しと徳田小学校の移転も含めた徳丹城史跡周辺活性化について問う。

教育長 小中学校の学区は基本的に行政区単位であるので、行政区再編後に考える。

周辺活性化については、曲がり屋の屋根ふき替えを行い、季節ごとのイベントを行う。

徳丹城史跡は、盛岡市のほか5市町による「日本遺産」への申請を行っており、4月下旬に発表される予定である。

徳田小学校の移転先は、今後の行政区再編と人口動態を見ながら、10年程度を目途に検討していく。

大水害を風化させない対策は 防災情報を発信し意識を高揚



ふじわら 藤原 議員
うめあき 梅昭 (一心会)

質問 平成25年8月の大水害を風化させない取り組みは。

町長 防災訓練のほかにも、やはばーく等で防災情報を発信し、意識の高揚に努める。

質問 東日本大震災被災地への支援は。

町長 これまで大槌町に1名派遣していたが、平成30年度も引き続き支援を行う。

質問 農作物等への風評被害対策は。

町長 生産者からの要望があれば、放射能測定を実施する。損害賠償を継続するよう要望している。

質問 水害想定危険地域の対策は。

一般質問 町政を問う



忘れてはいけない平成25年8月9日の大雨災害(矢幅駅前付近)

町長 北上川氾濫時の浸水想定区域・水害想定区域の周知に努め、平成31年度中に防災マップを更新する予定である。

質問 不足している消防団員の募集方法は。

町長 各行政区への要請や、

各種イベントなどでチラシを配布し勧誘に努める。コミュニティでの取り組みも特に重要と考えている。

質問 ドローン導入で、防災・観光・農業等多方面への積極的な活用を。

町猟友会に委託を継続する。

町長 町職員1名がドローンの操縦資格があり、多方面での活用を検討していく。

農業振興への 対応は

安定経営に 努めていく

質問 厳しい農業情勢の中、具体的な振興策は。

町長 機械導入・基盤整備・省力化・農地の汎用化による高収益作物導入など、農家の安定経営ができるよう努める。

質問 来年度から始まる農業経営収入保険制度への対応は。

町長 農業共済と協力し、各農家に合った選択ができるよう、制度のPRに努め個別相談に対応していく。

質問 鳥獣被害防止対応は。

町長 新たにイノシシやシカを捕獲するわなの導入を予定している。

その他の有害鳥獣駆除も、町猟友会に委託を継続する。

町長の言う町民党とは 町民・政策本位の理念



かわむら あきお
川村 農夫 議員
(一心会)



3月会議で施政方針演述を行った高橋町長

質問 昨年の国政選挙（衆議院選挙）において、町長は自由民主党の高橋比奈子氏を支持すると、岩手日報社の取材に答えた。
結果、町民の多くは他候補に得票されたが、町長の言う町民党の意味するものを、町

民として今までとこれからでどのように捉えたら良いのか。

町長 町政課題の解決を図るための陳情要望は、政権与党を通すことがポイントと捉えている。そのため的手法としての取材対応であった。

「町民党」という町民本位、政策本位のまちづくりという理念を変えることなく取り組んでいく。

イセファームの臭気対策は

真摯に対応するよう改善を求める

質問 岩手医科大学附属病院開院までの課題の一つとされてきたイセファームの養豚場臭気対策について、町の取り組みとその展望は。

町長 苦情が出た際には、当該事業者に対して、根本的な対策を求めるとともに、原因者として真摯に対応するよう改善を求めていく。
将来においては、完全移転や部分移転など、住民要望を

見極めていきたい。

矢巾型農業をどう作るか

話し合いが円滑に進むよう支援

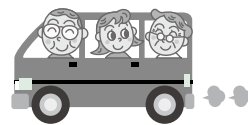
質問 集落内の農地・畑地の活用をどのように組み合わせていくかが、真の矢巾型農業には必要と考えるが、町長の考えを問う。

町長 人・農地プランの策定に、集落の話し合いが円滑に進むように支援していく。
経営規模が小さくても、大切な農業者として地域のコミュニティ構成員として捉えていきたい。

質問 小規模農家は零細農家ではないが、稲作をしなければ情報が入ってこない。解決策はないか。

町長 今後、協議会の中でさまざまな方に入ってもらうながら、問題解決に向けて検討をしていきたい。

デマンドタクシーに 特化し運行を



交通に関する調査特別委員会
中間報告

交通に関する調査特別委員会では、3つの分科会においてテーマに基づき調査研究を行い、中間報告を取りまとめ3月会議で報告した。

分科会テーマ

総務分科会

交通弱者対策

産業建設分科会

渋滞緩和の取り組み

道路網の整備

教育民生分科会

通学路等の安全対策

先進地視察研修

総務分科会

○新しい地域公共交通網「岩手町生活交通あいあいバス・あいあいタクシー」の運営事業について（岩手町・平成29年11月）

○市内循環バス・予約型乗合タクシーについて（山梨県都留市・平成29年11月）

○デマンドタクシー運行事業について（福島県二本松市・平成30年2月）

※デマンドタクシー…事前予約による乗り合い方式のタクシー。低料金で自宅から乗ることができる。

産業建設分科会

○道路網の整備計画について（盛岡市・紫波町・平成30年2月）

教育民生分科会

○ライジングボラードの設置について、環状交差点（ラウンドアバウト）の整備について（新潟県新潟市・平成30年2月）

調査意見

総務分科会

本町は、面積が比較的狭く、移動距離が短い。さわやか号を廃止して、町の周辺部から駅、金融機関、病院、商店等の中心部までの交通弱者対策として、デマンドタクシーに特化した運行が最適と考えられる。

産業建設分科会

盛岡市と連結する道路として、国道46号西バイパスの延伸、都南文化会館から矢巾町方面に向かう津志田白沢線、

議会からのお知らせ

なく、左折レーンの拡幅整備も必要と思われる。

教育民生分科会

通学路について、危険箇所等を調査し現地確認・検証を実施した。

紫波警察署交通課長と通学路の危険箇所について意見交換を行った。

早期の改善について町に要望していく。



岩手町の新しい地域公共交通網を視察



岩手県町村議会
広報コンクール **入選2席**

平成29年度岩手県町村議会広報コンクールで、やはば議会だより（202号）が入選2席になりました。

読みやすく分かりやすいを常に心掛け、町民の皆さまに親しまれる広報づくりに取り組んでまいります。

私も



ひとこと!

町の将来を町民とともに築く

高館 信雄さん(西徳田2区)



議会を傍聴する筆者

3月9日の一般質問を傍聴しました。質問要旨の一覧をいただき開会を待つ中、議場に入る議員が大きな声で朝のあいさつを交わす姿はとても爽やかでした。

違和感を覚えたのは、あらかじめ配布された質問要旨を議員が読み上げ、答弁があったことです。質問時間の制限など議会内のルールらしいのですが、質問の趣旨や背景を踏まえた答弁でない、理解しづらいと思いました。

今、国では、町村議員の兼業条件緩和など、なり手の確保に向けた議論が進められています。国の方針を待っただけではなく、矢巾町ではどうあるべきか議論を進め、発展を続ける町の将来を町民とともに築いてほしいと思います。

町民と町議会との懇談会

1月27日に開催した懇談会には、町内3会場で合計53人の皆さまにご参加いただきました。ありがとうございます。懇談会でいただいた質疑の一部をご紹介します。なお、次回の懇談会は、6月下旬の開催を予定しています。

道路整備は万全か

質問 医大附属病院の移転に伴い、交通量が増加すると思われるが、現在の道路の状況で対応可能か。

回答 交通に関する調査特別委員会で検討を進めている。

障がい者の就労機会は

質問 障がい者の就労機会について教えてほしい。

回答 就労継続支援A型、B型、新生会のあさあけの園やレストランあいののが、職業訓練をする場である。

待機児童の解消を

質問 子どもの保育体制、待機児童の状況について教えてほしい。

回答 今年4月、矢幅駅東口に60人体制の保育園が開園した。他の保育園も増員し、平成30年度は90人の受け入れ増となっている。

待機児童は4月時点ではゼロである。しかし、途中で発生する状況であり、家庭的保

育事業等を活用し、受け入れ態勢を強化するように提案していく。

道の駅構想の状況は

質問 道の駅構想について、徳丹城周辺に建設することはできないか。

回答 建設場所は決まっていないが、現在基本方針を策定している。

西部開拓線を県道に

質問 西部開拓線が県道になるように働きかけてほしい。

回答 矢巾町は紫波町とともに県道昇格に向けて、盛岡市も含め連携しながら協議するよう要望していく。



多くの意見が寄せられた懇談会(白沢集落センター)



町特産品をPRするタケルンジャーと筆者

まちの 人

地域おこし協力隊

ふじ おか ゆう こ
藤岡裕子さん (矢巾2区)

笑顔のパワーを信じて

矢巾町に来て3カ月が経ちました。この3カ月はあつという間に過ぎて、「あれ？まだ3か月？」と感じるくらいいろいろなことがありました。濃厚な3カ月を過ごせたのは、矢巾町の皆さんが温かく迎えてくださったおかげです。もう、感謝しかありません。私は「岩手を元気にする仕事をした」と思い、地域おこし協力隊になりました。「地域おこし協力隊……」。本当に「あいまいな仕事」だと自分でも思っています。そもそも地域おこしって何だろう、と考えてしまうことも多くあります。

矢巾町に来る前、私は東京のテーマパークで働いていました。テーマパークで働いた期間は、まさに夢のような時間でした。チームの仲間と最高に幸せな空間を作る。そこにはたくさんの笑顔が溢れていました。考えてみれば、私の故郷にも常に笑顔がありました。愉快な家族、優しい親戚、多様な友達、近所の商店の皆さん。たくさん笑顔の中で育ってきました。

結局、私は「笑顔のパワー」を信じているのです。笑顔の輪が広がること。それが元気になること、地域おこしだと思っています。結局、漠然としています……。矢巾町の皆さんは本当に優しく、明るい方が多いという印象です。ヨソモノの私たちを優しく迎えてくださいました。地域おこし協力隊が来たことで、「町が明るくなったね」「楽しくなったね」と言っていただけのような活動を、これから模索していきたいと思います。そして、町の皆さんに愛される協力隊になり、皆さんにもっともっと笑顔になってもらえるよう、私も頑張っていきます。よろしく願います。

あ と が き

岩手医科大学附属病院の開院に向け、ハード整備が着々と進んでいます。県の医療拠点にふさわしい町として、ソフト面の充実も必要です。今後、ハードとソフトの両面において、バランスの取れたまちづくりに取り組みたいかなければなりません。

編集委員長 昆 秀一

表紙によせて

1月22日、町内の小中学生が議員となって町に提言を行う「子ども議会」が開催されました。矢巾町の将来を担う24名の子ども議員が、町をもっと良くしたいという思いを熱弁しました。



発行・編集責任者

議長 廣田 光男

編集委員
委員長 昆 秀一
副委員長 齊藤 正範
委員 赤丸 秀雄

水本 淳一
小川 文子

